

支援活動の内容を領域別に表示①

【総合的指針】

衛生面に配慮した活動の場を提供し、児自身が基本的な感染等の防止を認知し健康的な日常を送れるような支援を行う。
 社会資源を活用し様々な体験を通し児童の身体的成長を見守り、自立に向け社会性と生活力の向上を目的に寄り添う支援を行う。
 児童個々の持つ強みを引き出し、自己の向上を実感しながら日々の生活を楽しめるよう支援する。

支援の領域	目標	活動内容 ※活動概要参照
健康・生活	<p>活動を通し日常動作の認知と習慣性を培う。</p> <p>衛生への習慣性を喚起し、感染の予防行動を促す。</p> <p>自力で出来る喜びを増やし、生活意欲を高める。</p> <p>持ち物等の自己管理、仕度、片付けを身に着け自発的な日常生活への意欲を高める。</p>	活動概要①の支援活動
運動・感覚	<p>身体の発達に合わせた負担なき運動活動を通し自己の動作の向上と集団行動の機会を支援し協調性を培う。</p> <p>様々な道具の用途を体験を通し習得し感覚を養っていく。</p>	<p>活動概要①</p> <p>活動概要③の支援活動</p>
認知・行動	<p>成長と行動範囲の広がりの中で危険の認知と対処を習得する。</p> <p>遊びを通し決まりや順番に触れ適切な行動と認識を理解しつつ、生じる葛藤と向かい合い、気持ちの切り替えを促す。</p> <p>災害時の行動を体験を通して認知し緊急時の支持を受容する。</p>	<p>活動概要④</p> <p>活動概要⑤</p> <p>活動概要⑥の支援活動</p>